

仏教学会

◇修士論文・卒業論文梗概発表会

一月十七日(木) 於 十五番教室

昭和四十八年度は大学院修士論文に二十五名、文学部卒業論文に四十七名の提出者があった。

◇仏教学会 — 送別会 —

一月二十二日(火) 於 キムラヤ

出席 雲井照善会長ほか教職員、学生合わせて約五十名。

大谷哲学会

◇学会機関誌『哲学論集』第二〇号発刊

三月一日

目次

追悼……………坂本 弘

カント倫理学の伝統的解釈について

……………立花 勝

クラブレードの機能主義的教育について

……………太田 祐周

キルケゴールにおける「実存」の特質

……………大屋 憲一

漁村の社会変動

——東京都中央区佃島と森一族を中心とする——

ソクラテスの死と生

——プラトン『ソクラテスの弁明』を典拠として——

……………市橋 弘道

尚「追悼」は年度を同じくして御他界になりました世良寿男、河瀬憲次、立花勝の三先生を追悼して書かれたものであり、本号掲載の立花勝先生の論文は、先生の遺稿となったものであります。

『哲学論集』に関するお問い合わせは、哲学研究室か、社会・教育学研究室へお願い致します。

宗教学会

◇公開講演会

一月二十三日 於 図書館会議室

「経験」について

……………京都大学教授 上田 閑照氏

出席者 坂本教授、大屋助教、古賀講師、堀尾助手、築山特研員、宗教学専

攻生及び学内外の学生約五十名

「経験」について、その宗教の領域に於ける位置を改めて探究し、解明しようとする意欲的な講演がなされ、後、活発な質疑応答が交された。

国史学会

◇伏見稲荷大社周辺史蹟踏査

一月二十日(日)

見学場所 稲荷大社・荷田春満旧宅・石峰寺・瑞光寺(元政庵)・宝塔寺。

引卒指導 堅田教授、佐々木(孝)講師、豊島特研員。参加学生十五名。

日本仏教史学会

◇史蹟踏査・修論卒論報告会・予餞会

二月九日(土)

見学地 西本願寺大書院・飛雲閣、島原角屋。

五時より修士論文・卒業論文報告会並びに予餞会。

参加 赤松教授・北西教授・名畑助教・大桑助手・佐々木(令)特研員、

学生三十名。

◇大学院研究旅行(越前地方)

二月十七・十八日

一日行程 福井駅集合。浄得寺、藤島神社、福井歴史郷土博物館、越前海岸一丁来泊。

二日行程 法雲寺、長崎称念寺、福井駅解散。

参加||赤松教授・大桑助手・佐々木(令)  
特研員、原直樹氏、院生十五名。

国文学会

◇『文芸論叢』第二号発刊

・室生犀星の「市井鬼もの」

——「ハト」をてがかりとして——

仲野 良一

・『平家』における文覚像とその背景

——発心譚を中心として——

渡辺 貞麿

・『今昔物語集』にみる罪障意識

——本朝仏法部を中心に——

石橋 義秀

・「百座法談聞書抄」における五郡孝子譚の典拠

末武 恭子

・劉孝標の思想

若槻 俊秀

——六朝貴族社会における一寒門人の在り方——

・資料紹介

『蒹葭堂題咏』

水田 紀久

(A5判五三ページ 定価五〇〇円)

昭

和四九年三月三二日発行)